

2012 Formula Nippon Rd.5  
TWIN RING MOTEGI  
4 AUGUST 2012

## 予 選

観客数 : 10,000 人 (天候 : 晴)



ツインリンクもてぎで開催された全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ第 5 戦において、PETRONAS TEAM TOM'S の中嶋一貴は 3 番グリッドから、アンドレ・ロッターは 4 番グリッドから決勝レースをスタートすることとなった。

- ロッターは、Q1 を 11 番手で Q2 に進出したが、Q2、Q3 で調子を戻し、4 番手グリッドを得た。
- 中嶋は手堅く予選を進め、2 戦連続のポールポジション獲得を目指したが、12/1000 秒足りず、ポールポジションを逃してしまった

Drivers	Car No.	Q1	Q2	Q3
Andre Lotterer	1	P11 1:35.435	P4 1:35.147	P4 1:34.712
Kazuki Nakajima	2	P2 1:34.929	P2 1:34.974	P3 1:34.600

Weather	Sunny Hot	
Temperatures	Air: 31-32 °C	Track: 42-44 °C

### アンドレ・ロッター (Driver for car No. 1)

“前戦の富士大会で感じたタイヤのグリップ感を失ってしまうという不思議な感触が、この大会でもまた起きてしまった。朝の練習走行でトップタイムを叩き出した時にはとても良い感触でグリップしていた。しかし、Q1 ではグリップ感が無くて全く違った感触だった。その後のセッションでは限界点がどこにあるのかを悩みながらの走行となった。Q2、Q3 で感触は良くなったが、まだ自信を持っていない部分がある。決勝に向けていろいろな要素を見直す。決勝で我々は常に強いので、良いスタートを切って再び勝ちたい”

### 中嶋 一貴 (Driver for car No. 2)

“Q3 のアタックを終え、タワーの順位ボードを見てびっくりした。ポールを獲得した、と感じていたのに自分のカーナンバーが 3 番手にあった。朝の練習走行から予選各セッションを通じてマシンのセッティングも決まり満足している。そして、決勝に向けてのセットアップは決まっているので、明日の決勝は良いレースをしてロッターと共に勝利を目指したい”

### 東條 力 (Engineer for car No. 1)

“ロッターによるとマシンとタイヤのマッチングが、ここもてぎでもとても敏感なようで、前戦の富士と同じような状況のようだ。次戦のためにも、予選のためのセッティングに関する問題解決が必要なようだ。決勝に向けての 4 番手スタートというのは悪くない。彼は決勝では常に速いので再び勝ちたい”

### 小枝 正樹 (Engineer for car No. 2)

“中嶋は朝の練習走行からマシンのセッティングに満足してくれ、調子が良かった。今回のもてぎではセットアップをうまくまとめ上げることはできたが、インパルの 2 台がそれ以上に速かった。3 番手からのスタートとなるが、良いレースを展開して勝ちたい”

### 舘 信秀 (Team Director)

“今日の予選はインパルにやられて悔しい。ロッターにまた変な状況が出てしまったけれど、スタッフは決勝に向けて問題を解決し、決勝ではいつものロケットスタートを決めてポジションを上げてくれると信じている。中嶋も好調なので再びアンドレとの一騎打ちを期待したい”

2012 Formula Nippon Rd.5  
TWIN RING MOTEGI  
5 AUGUST 2012

**決 勝**

観客数 : 16,000 人 (天候 : 晴)



全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ第5戦が行われたツインリンクもてぎにおいて、PETRONAS TEAM TOM'S のアンドレ・ロッターラーが2位、中嶋一貴が4位でフィニッシュした。

- ロッターラー、中嶋共にはスタートを失敗し、ロッターラーはポジションを維持したものの、中嶋は順位を二つ落としてスタートとなった。
- ロッターラーはピットインのタイミングで3位に順位を上げ、2位を走行していた20号車のマシントラブルにより2位となり、中嶋も20号車をパスして4位でフィニッシュした。

Drivers	Car No.	Result / Fastest Lap
Andre Lotterer	1	P2 1:38.621
Kazuki Nakajima	2	P4 1:38.998

Weather	Sunny	
Temperatures	Air: 34-34 C	Track: 52-46 C

**アンドレ・ロッターラー (Driver for car No. 1)**

“スタートはまずかったけれどポジションはキープできた。前半、塚越を追っていた時に十分なタイヤのグリップがなく苦しかったので早めにピットインすることで順位を入れ替えるのに成功した。後半はマシンの調子も良くなり、ペースも上げることができた。最後、20号車に何かのトラブルが発生したことで2位を得てポイントを稼げた。シリーズチャンピオンの連覇を考えると、2位でフィニッシュできたことは大きな意味を持つ”

**中嶋 一貴 (Driver for car No. 2)**

“スタートはあまり良くなくて第3コーナーまでにポジションを二つ落としてしまった。このサーキットは抜くのが難しいためにスタートが決め手となるので残念である。この週末は調子も良かっただけに4位は不本意な順位だ。しかし、シリーズチャンピオンを目指す上で少しでも多くのポイントを取ることが必要なわけで、ポイントリーダーとしてSUGOに臨む事ができたが、残り2戦をしっかり闘いたい”

**東條 力 (Engineer for car No. 1)**

“今回、ロッターラーにとっては珍しくスタートは悪かったが、ポジションをキープしてくれた。彼は塚越よりもペースは良かった。もてぎは抜くことが難しいコースながら、スタートからフィニッシュまで集中力を切らさないで良いレースを展開してくれた。松田には申し訳ないが8ポイントを獲得でき、中嶋に1点差まで詰寄り、いよいよシリーズ決戦が混沌としてきた”

**小枝 正樹 (Engineer for car No. 2)**

“今大会は決して調子は悪くなかったが、インパルの2台がそれ以上に一枚上を行っていた。5ポイントを得てポイントリーダーを維持できたのは幸いだが、残りのレースは更に厳しさを増すであろうから、中嶋と相談してマシンをもっと良くする必要がある”

**舘 信秀 (Team Director)**

“星野さん並びに、チームインパルの皆さん、おめでとうございます。もてぎでのインパルは昨日の予選、今日の決勝と本当に強かった。選手権争いを考えるとロッターラーの2位、中嶋の4位フィニッシュは良かったが、勝てなかったことがすごく悔しい。SUGOではインパルを打ち負かし、二人のトムスドライバーによる選手権争いを期待している”